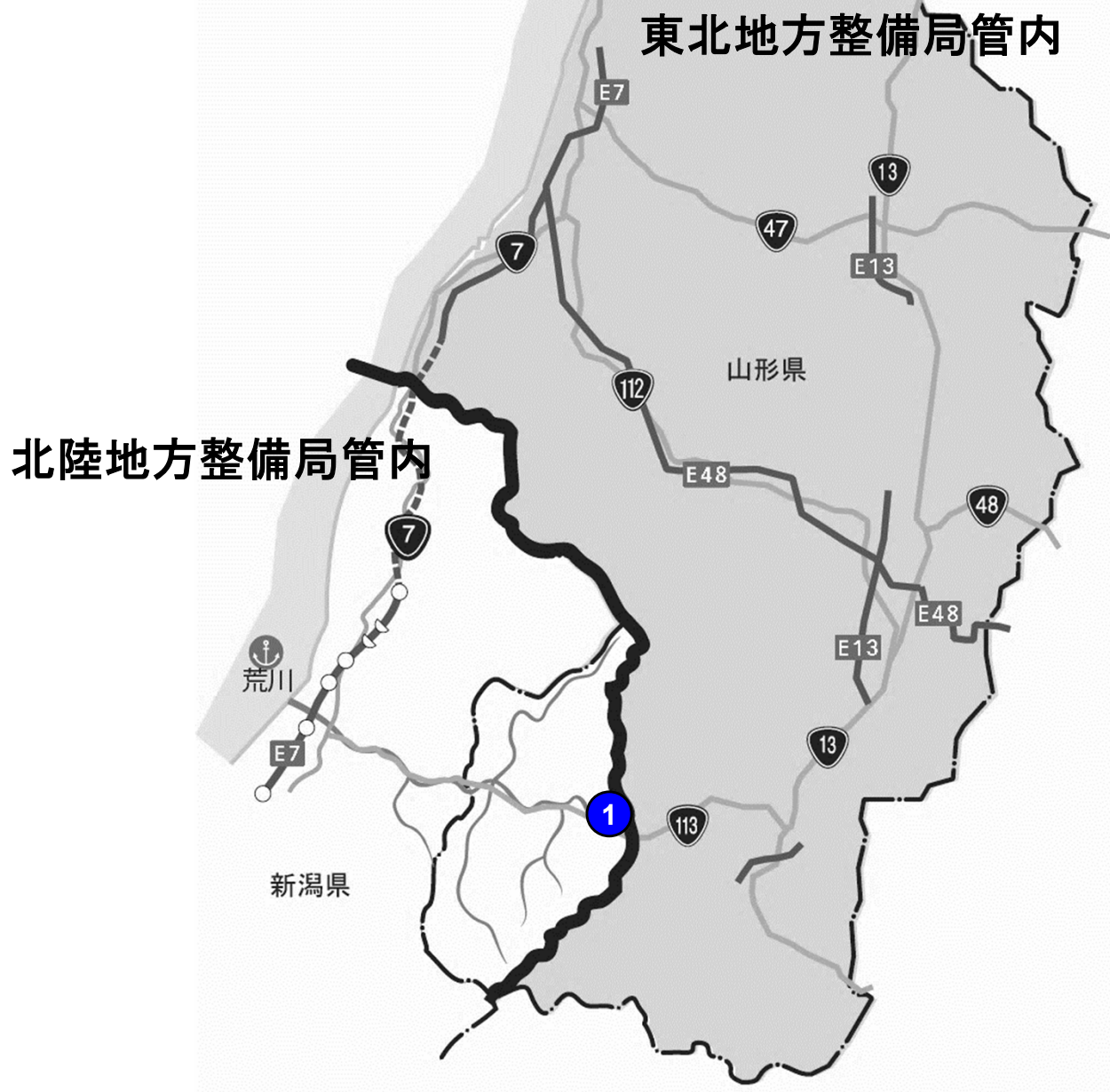


山形県内の主要事業

治水

1	直轄	飯豊山系(砂防) 杉立沢土砂流出対策
---	----	-----------------------



凡例	治水事業
----	------

いいで さんけい
飯豊山系直轄砂防事業の推進
やまがた にしおきたま おぐにまち すぎたちさわ
山形県西置賜郡小国町（杉立沢土砂流出対策）

R7事業費
155百万円

事業の概要

飯豊山系の荒川流域は、荒廃が著しい渓流や崩壊した斜面が多数存在し、河床には不安定な土砂や流木が大量に堆積しており、昨今の気象変動による影響で頻発化している集中豪雨により水害・土砂災害が激甚化する危険性が高い流域です。

この中でも杉立沢流域では、大規模な土砂崩壊に伴う河道閉塞が発生するなど河道内に不安定土砂が大量に堆積しており、これが今後の出水等で流下し国道113号やJR米坂線といった地域の重要交通網の被災が懸念されます。

杉立沢土砂流出対策では、「流域治水」の一環として土砂災害を防止するため、砂防堰堤の整備を実施します。

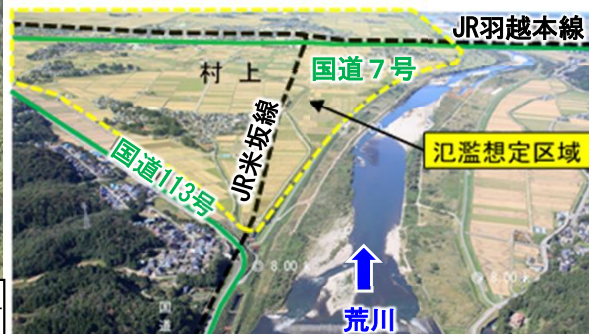
整備効果

砂防堰堤の整備により、飯豊山系の土砂・洪水氾濫に対する治水安全度を向上させ、保全対象である山形県西置賜郡小国町をはじめとした沿川地域における安全と安心を確保します。

令和7年度の事業内容

沼沢地区において砂防堰堤工の整備を推進します。

事業箇所の全景



凡 例	
■	令和6年度以前
■	令和7年度
■	令和8年度以降

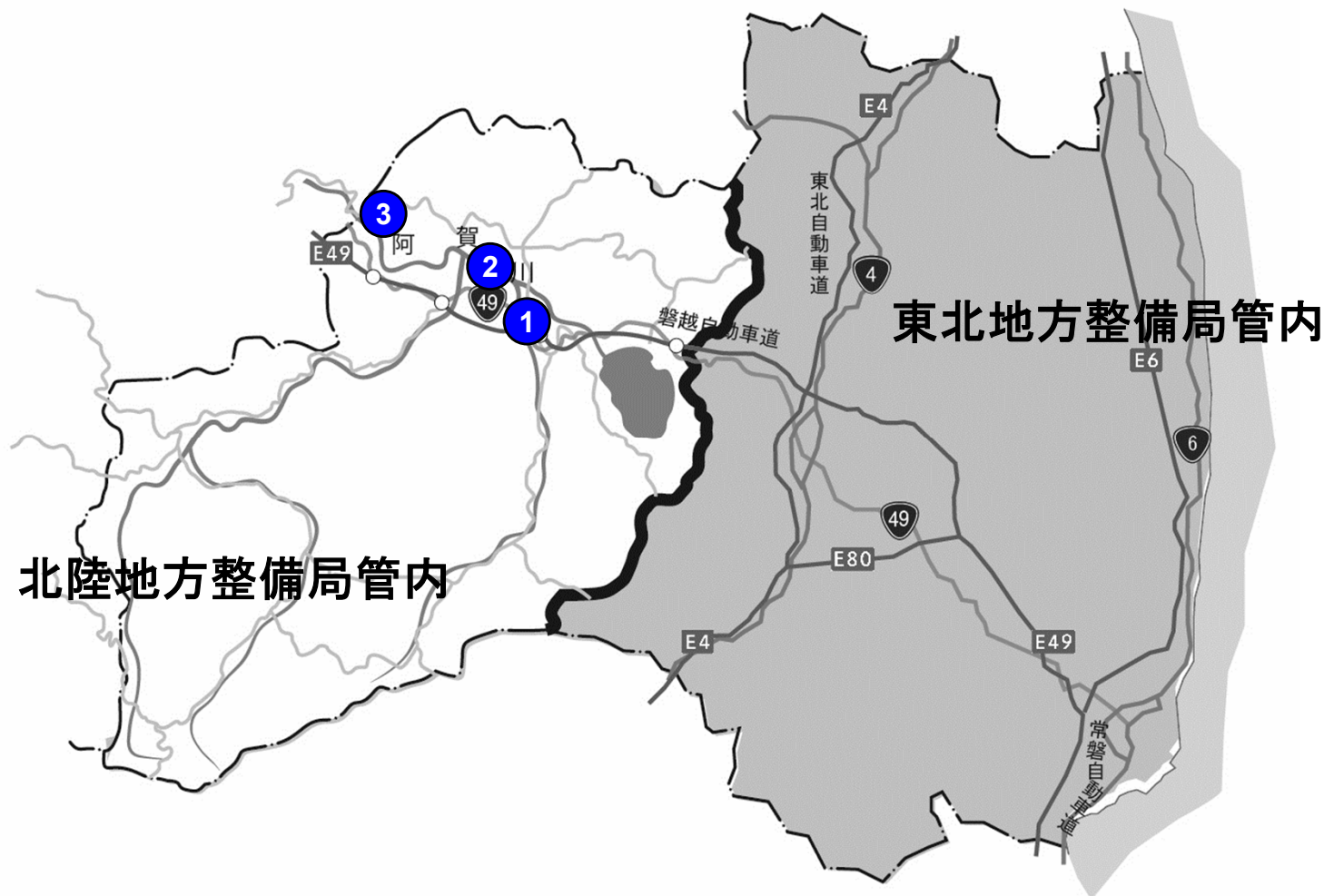


➤ 北陸地方整備局管内の流域治水プロジェクトについては、下記にてご覧いただけます。
<https://www.hrr.mlit.go.jp/river/ryuikisui/top.html>

福島県内の主要事業

治水

1	直轄	阿賀川 環境整備（阿賀川中流域地区）	新規
2	直轄	阿賀川 長井地区下流狭窄部対策事業	
3	直轄	滝坂地区直轄地すべり対策	



凡例

治水事業

あががわ 阿賀川 環境整備 自然再生 の着手

ふくしま あいづわかまつ ゆがわ あいづばんげまち あががわ
福島県会津若松市、湯川村、会津坂下町（阿賀川中流域地区）

R7事業費
134百万円※

※阿賀野川総合水系環境整備事業のR7当初全体事業費

事業の概要

あががわ
阿賀川は、低水路と高水敷の比高差が拡大して、みお筋が固定化したことで、樹林化による礫河原の減少や瀬淵等の減少により、動植物の生息・生育・繁殖の場が減少しました。

このため、阿賀川らしい河川環境の再生を目標に、自然再生事業の取り組みに着手します。

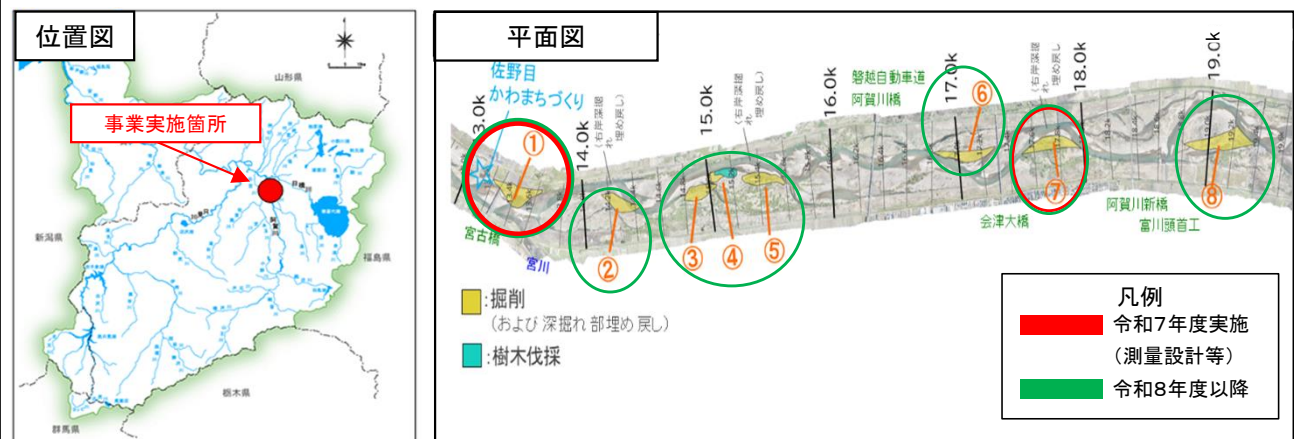
本事業では、阿賀野川水系における流域治水の一環として、河原で見られる動植物や陸封型イトヨ等の動植物の生息・生育・繁殖環境の再生・創出を目指して、「礫河原環境の保全・再生」と「多様な水域環境の再生」に取り組みます。

整備効果

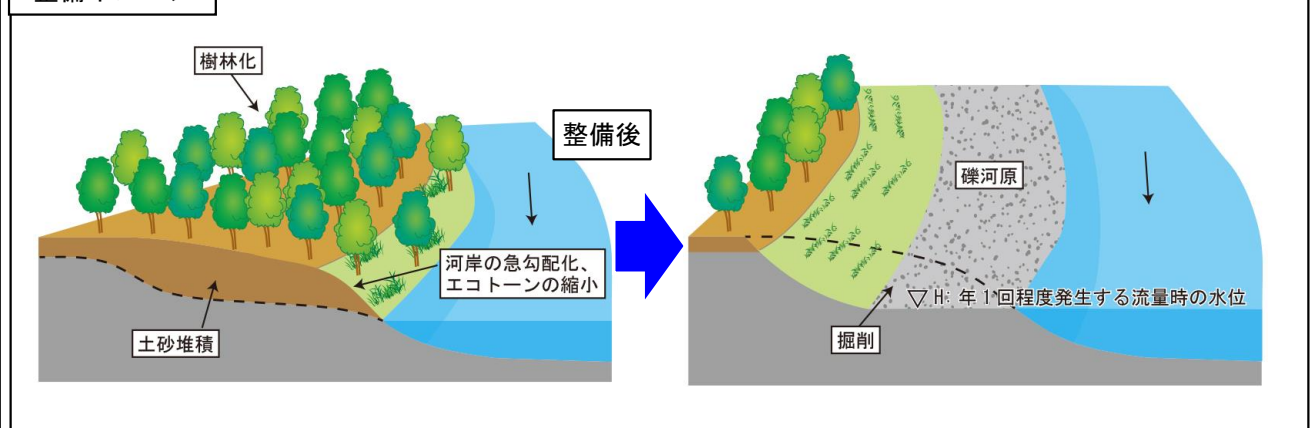
礫河原再生のための掘削・伐採後の出水時の外力を活用して、水域環境の多様化を図ります。

令和7年度の事業内容

あががわ
グリーンインフラの取り組みとして、阿賀川中流域地区において礫河原の再生のための、測量設計・事前モニタリングに着手します。



整備イメージ



➤ 北陸地方整備局管内の流域治水プロジェクトについては、下記にてご覧いただけます。
<https://www.hrr.mlit.go.jp/river/ryuikitisui/top.html>

あ が が わ
阿賀川

ながい
長井地区下流狭窄部対策事業
ふくしま きたかた
福島県喜多方市

の推進

R7事業費
378百万円※1

※1: 阿賀川河川改修事業のR7当初全体事業費

事業の概要

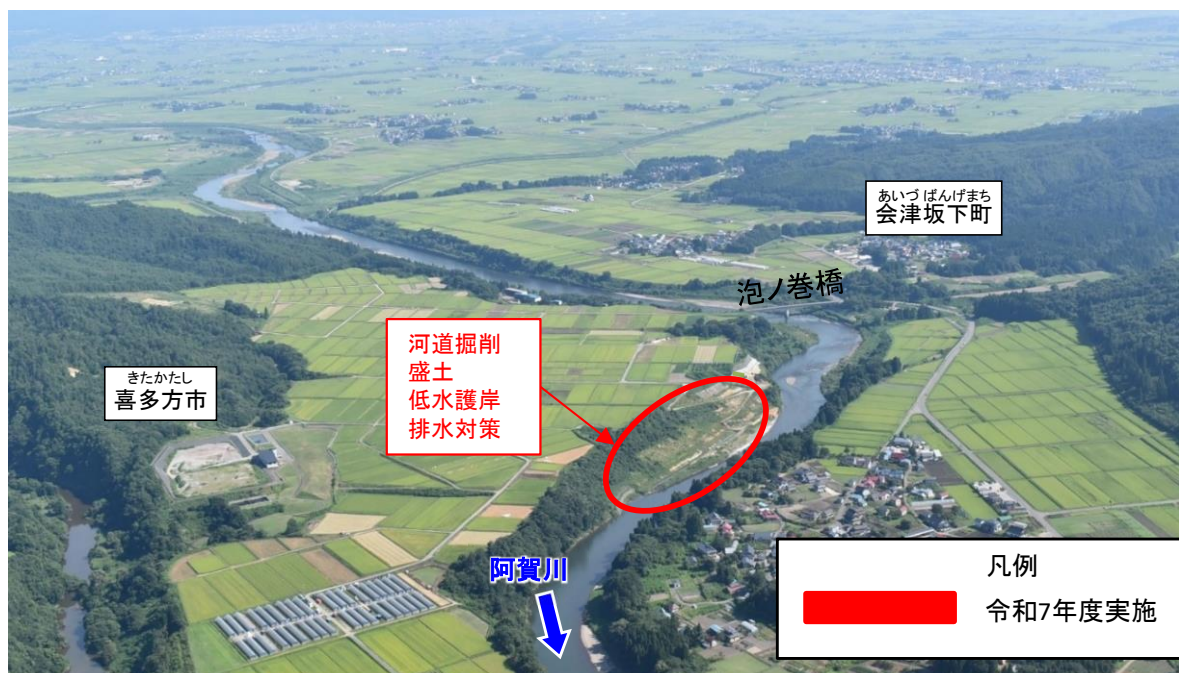
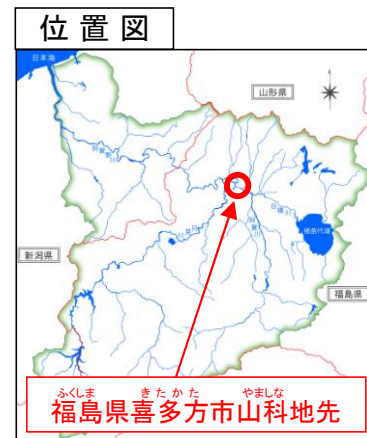
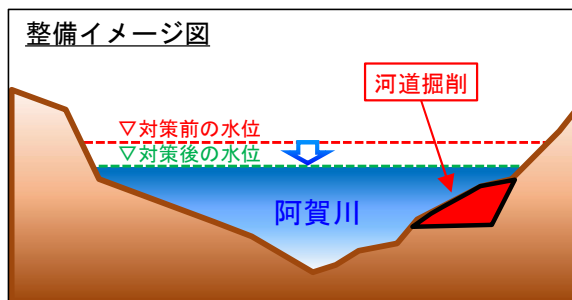
あ が が わ
阿賀川直轄管理区間の最下流部は川幅が狭い狭窄部のため、洪水時の水位上昇が著しく古くから
あいづ
会津盆地の水害の原因となっており、昭和57年9月、平成14年7月洪水時には内水はん濫及び漏水等
の被害が発生しました。そのため、あわのまき
泡の巻地区、つじり
津尻地区の狭窄部対策として河道掘削を計画的に
実施してきており、現在、ながい
長井地区の河道掘削を実施しています。
あ が の が わ
阿賀野川水系における流域治水の一環として、河道掘削等を推進します。

整備効果

河道掘削等の推進により、あ が が わ
阿賀川流域の治水安全度を向上させます。

令和7年度の事業内容

ながい
長井地区の河道掘削等を推進します。



➤ 北陸地方整備局管内の流域治水プロジェクトについては、下記にてご覧いただけます。
<https://www.hrr.mlit.go.jp/river/ryuikitisui/top.html>

たきさか
滝坂地区直轄地すべり対策事業の推進
ふくしま やま にしあいづまち
福島県耶麻郡西会津町

R7事業費
478百万円

事業の概要

滝坂地すべりは、福島県西会津町の新潟県境近くに存在し、面積約150ha、深さ（高さ）約140mの地すべり土塊を有する国内最大級の地すべりであり、平成8年に直轄地すべり対策事業が開始されるまでは、年間約100cmを超える活発な地すべり活動が発生していました。

万が一、地すべり活動の活発化によって阿賀川本川に河道閉塞が形成されてしまうと、上流の西会津町や喜多方市では湛水による広域的な被害が発生し、また、下流の沿川一帯では河道閉塞の土塊が決壊し、一気に流下することで大規模な水害・土砂災害が発生してしまう危険性があります。

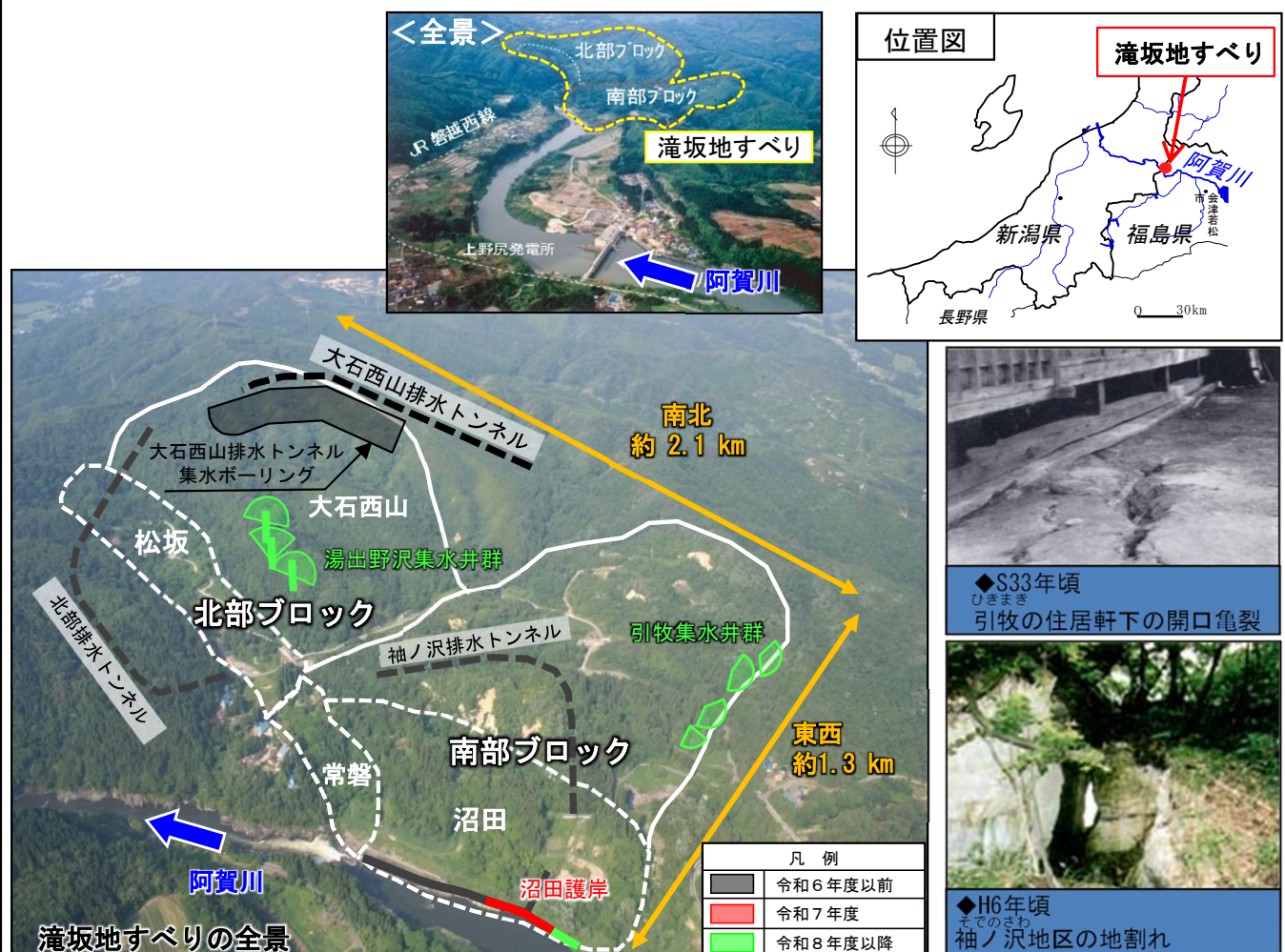
滝坂地区直轄地すべり対策事業では、「流域治水」の一環として土砂災害を防止するため、集水井や排水トンネル等の各種地すべり防止施設の整備を実施します。

整備効果

地すべり防止施設の整備により、阿賀野川水系の土砂災害に対する治水安全度を向上させ、保全対象である福島県耶麻郡西会津町をはじめとした沿川地域における安全と安心を確保します。

令和7年度の事業内容

豊洲地区において、地すべり防止施設の整備を推進します。



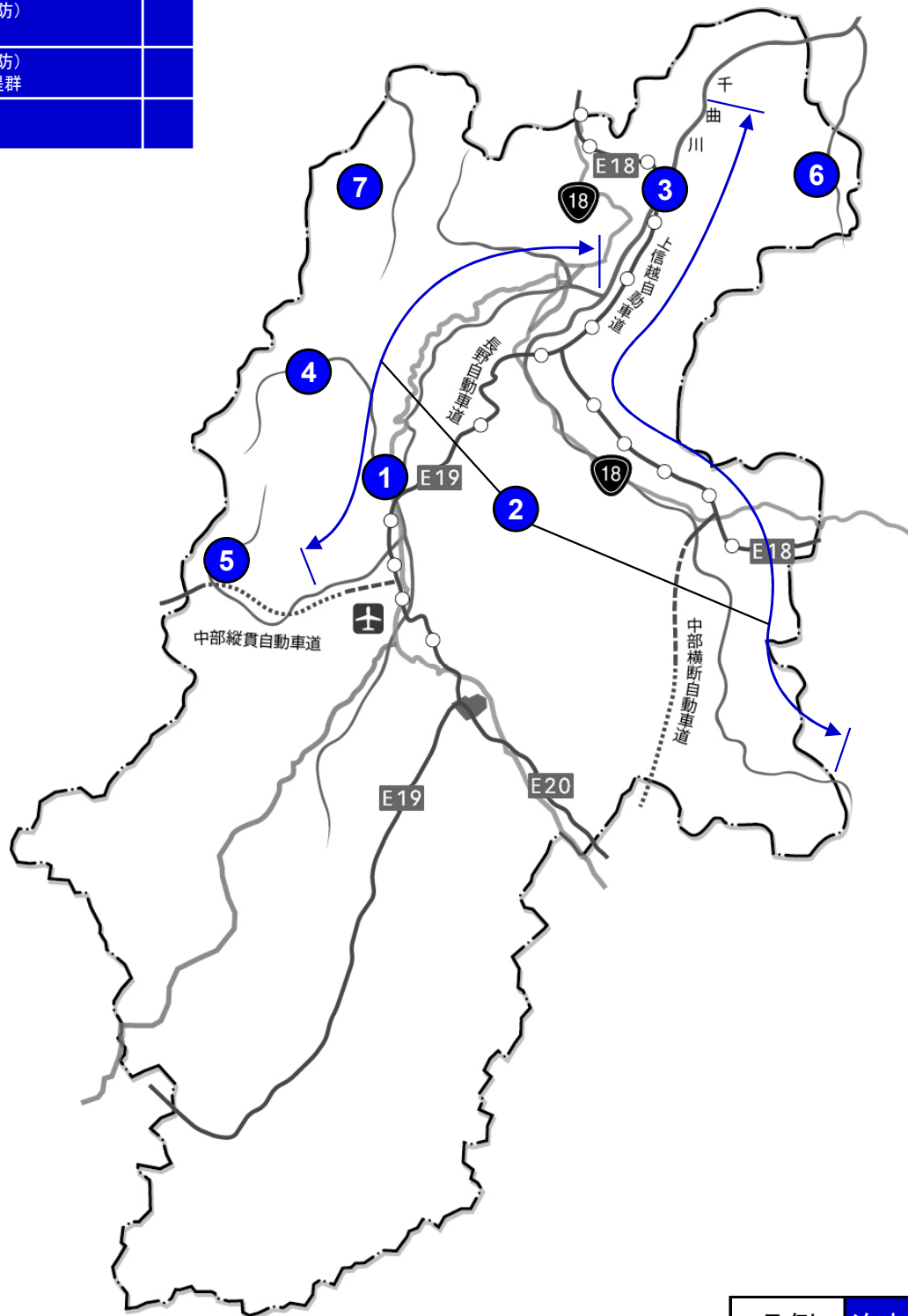
➤ 北陸地方整備局管内の流域治水プロジェクトについては、下記にてご覧いただけます。

<https://www.hrr.mlit.go.jp/river/ryuikitisui/top.html>

長野県内の主要事業

治水

1	直轄	犀川 環境整備(明科地区)	新規
2	直轄	信濃川水系 緊急治水対策プロジェクト(千曲川)	
3	直轄	千曲川 飯山地区MIZBEステーション整備事業	
4	直轄	大町ダム等再編事業	
5	直轄	信濃川上流水系(砂防) 上千丈沢床固工群	
6	直轄	信濃川下流水系(砂防) 中津川上流砂防堰堤群	
7	直轄	姫川水系(砂防) 浦川第9号砂防堰堤	



凡例 治水事業

犀川 環境整備 水辺整備 の着手

ながの あづみの あかしな
長野県安曇野市（明科地区）

R7事業費
276百万円※

※信濃川総合水系環境整備事業のR7当初全体事業費

事業の概要

安曇野市東部に位置する明科地区では、各種ウォーターアクティビティが楽しめる犀川や北アルプスの雄大な眺望やトレッキング等が楽しめる長峰山等、エリアにアウトドア資源があるものの、市民がより集いやすくなり、水辺空間を中心に人々がまちを巡り、地域全体で新たな出会いや活動の創出が求められています。

本事業は、「安曇野市犀川×前川かわまちづくり」計画が登録されたことを踏まえ、親水護岸、巨石水制延伸等の整備を行います。

整備効果

河岸の利便性と安全性を高める整備を行い、関係機関とも連携しながら水辺の賑わい創出、地域の活性化を目指します。

令和7年度の事業内容

明科地区で、水辺整備（親水護岸、巨石水制延伸等）のための測量設計に着手します。



平面図



利用イメージ



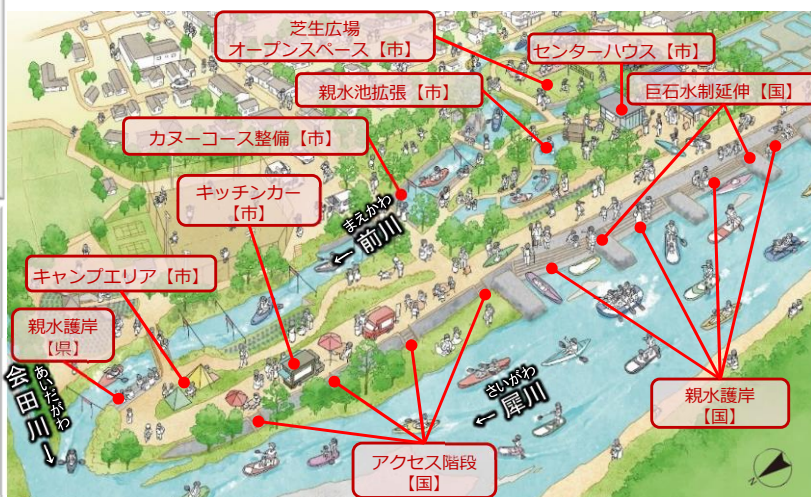
【自然体験・環境教育】

利用イメージ



【体験教室・アスリート育成】

整備イメージ



しなのがわ ちくまがわ ながの ながの 信濃川水系緊急治水対策プロジェクト(千曲川)※1の推進 ながの ながの R6補正及びR7事業費 20,032百万円※2

※2: 千曲川の河川等大規模災害関連事業費のR6補正及びR7当初全体事業費の合計

事業の概要

令和元年東日本台風では信濃川水系の千曲川上流域から信濃川中流域の広域にわたって甚大な被害が発生したことから、「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」として、国、県、市町村が連携して河川整備によるハード対策と流域における対策や地域連携によるソフト対策を一体的かつ緊急的に実施します。

「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」の概要

○以下の3つを柱として取り組んでいきます。

- ①被害の軽減に向けた治水対策の推進（河川における対策）
- ②地域が連携した浸水被害軽減対策の推進（流域における対策）
- ③減災に向けた更なる取組の推進（まちづくり、ソフト施策）

関係機関が連携し、上記の3つの取組を実施し、「再度災害防止・軽減」、「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の最小化」を目指します。

令和7年度の事業内容

信濃川水系緊急治水対策プロジェクト(千曲川)の「河川における対策」の内、水位低減を図る河道掘削、遊水地及び堤防強化を推進します。

～ みんなでつなぐしなのの川 ～

信濃川水系緊急治水対策プロジェクト ～ 「日本一の大河」上流から下流まで流域一体となった防災・減災対策の推進 ～



※1: 「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」

➤ 緊急治水対策プロジェクトの詳細は下記にてご覧いただけます。

http://www.hrr.mlit.go.jp/river/sinanogawakinkyutisuitaisaku/sinanogawakinkyutisuitaisaku_top.htm

事業の概要

千曲川は令和元年10月台風19号豪雨水害で甚大な被害が発生するなど、これまで幾度も甚大な洪水被害が発生しています。

このため、高瀬川の既設ダムである高瀬ダム・七倉ダムの発電容量の一部と、大町ダムの水道容量の一部を洪水調節容量として新たに確保し、下流の洪水流量をさらに減少させること、さらに流入土砂対策を行うことにより長期的にダムの機能を確保することを目的とした大町ダム等再編事業を、令和2年度より進めています。

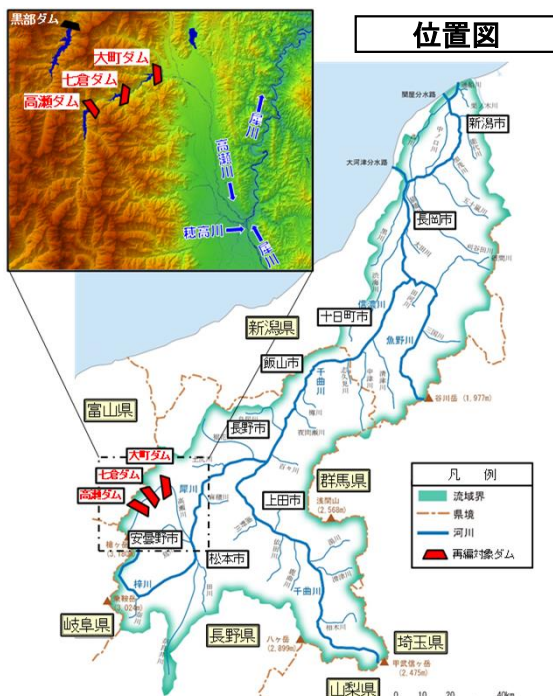
近年の気候変動に伴い激甚化・頻発化する水害・土砂災害等に対し、ハード対策とソフト対策が一体となった治水対策である「流域治水」の一環として、再編事業を実施します。

整備効果

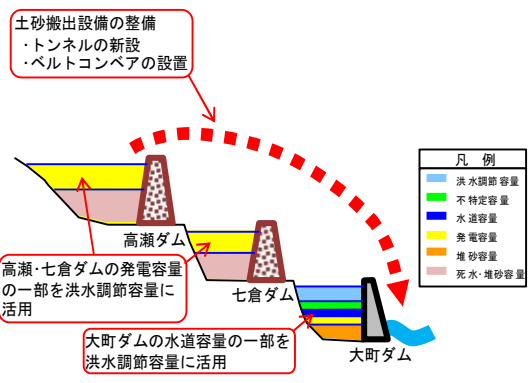
洪水量を低減させ、下流域の治水安全度を向上させます。

令和7年度の事業内容

土砂輸送用トンネル工事 等を進め、事業の進捗を図ります。



事業イメージ図



➤ 北陸地方整備局管内の流域治水プロジェクトについては、下記にてご覧いただけます。
<https://www.hrr.mlit.go.jp/river/ryuikitisui/top.html>

しなのがわ
信濃川上流水系直轄砂防事業の推進
ながの まつもと かみせんじょうさわ
長野県松本市(上千丈沢床固工群)

R7事業費
170百万円

事業の概要

しなのがわ あずさがわ
信濃川上流水系の梓川上流域は、荒廃が著しい溪流や崩壊した斜面が多数存在し、度重なる出水により流出した不安定な土砂が河床内に大量に堆積しており、昨今の気象変動による影響で頻発化している集中豪雨により水害・土砂災害が激甚化する危険性が高い流域です。

流域内に位置する県道上高地公園線においては、上千丈沢を含む複数の溪流が横断しており、出水時は度々発生する土石流によって通行止めとなる等の被害が生じています。

かみせんじょうさわ
上千丈沢床固工群では、「流域治水」の一環として土砂災害を防止するため、砂防堰堤工の整備を実施します。

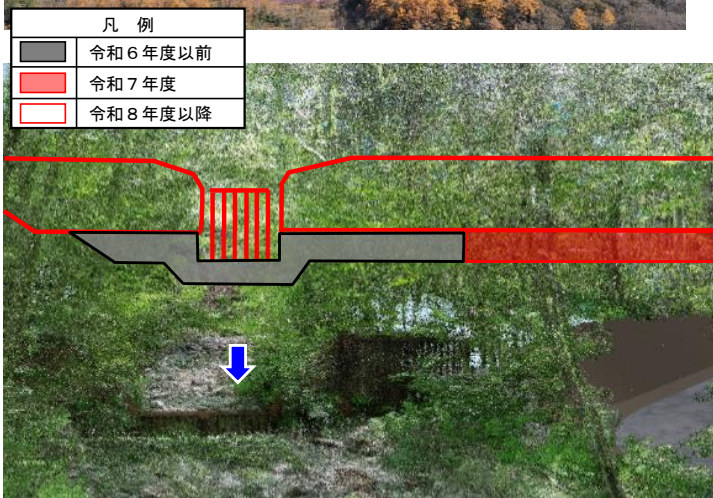
整備効果

しなのがわ
砂防堰堤工の整備により、信濃川上流水系の土砂・洪水氾濫に対する治水安全度を向上させ、保全対象である松本市をはじめとした沿川地域における安全と安心を確保します。

令和7年度の事業内容

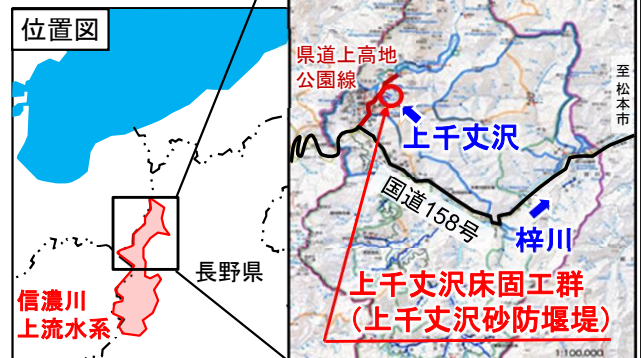
あづみかみこうち
安曇上高地地区において、砂防堰堤工の整備を推進します。

事業箇所の全景



上千丈沢砂防堰堤

位置図



県道上高地公園線の途絶(S54年8月出水時)



土石流発生時の状況(H23年6月出水時)

➤ 北陸地方整備局管内の流域治水プロジェクトについては、下記にてご覧いただけます。
<https://www.hrr.mlit.go.jp/river/ryuikitisui/top.html>

しなのがわ
信濃川下流水系直轄砂防事業の推進
ながの しもみのち さかえ なかつがわ
長野県下水内郡栄村（中津川上流砂防堰堤群）

R7事業費
300百万円

事業の概要

しなのがわ なかつがわ なえぼさん とりかぶとやま
信濃川下流水系の中津川上流域は、苗場山や鳥甲山からの火山噴出物による脆弱な崩壊斜面が多数存在し、河床には不安定な土砂が大量に堆積しており、昨今の気象変動による影響で頻発化している集中豪雨により水害・土砂災害が激甚化する危険性が高い流域です。

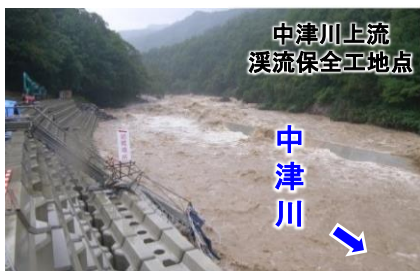
中津川上流砂防堰堤群では、「流域治水」の一環として土砂災害を防止するため、砂防堰堤群と溪流保全工（護岸工）の整備を実施します。

整備効果

しなのがわ
砂防堰堤工の整備により、信濃川下流水系の土砂・洪水氾濫に対する治水安全度を向上させ、保全対象である長野県栄村をはじめとした沿川地域における安全と安心を確保します。

令和7年度の事業内容

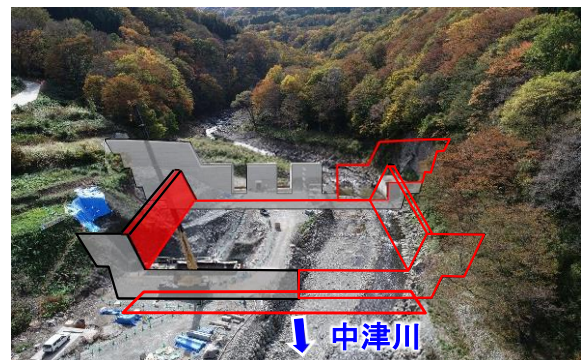
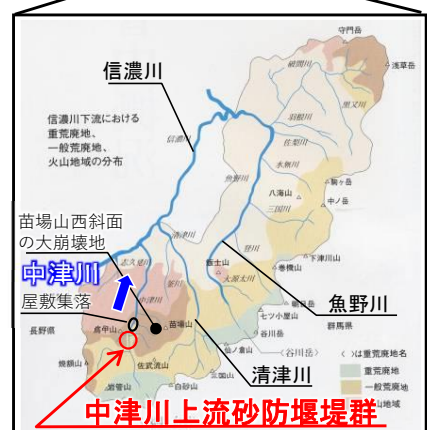
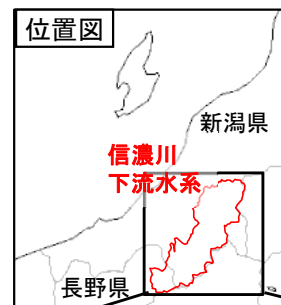
うえのはら
上野原地区において、砂防堰堤工の整備を推進します。



H25.9台風18号による出水の状況



苗場山西斜面の大崩壊地



中津川上流第2号砂防堰堤

➤ 北陸地方整備局管内の流域治水プロジェクトについては、下記にてご覧いただけます。
<https://www.hrr.mlit.go.jp/river/ryuikitisui/top.html>

ひめかわ
姫川水系直轄砂防事業の推進
ながの きたあづみ おたり うらかわ
長野県北安曇郡小谷村(浦川第9号砂防堰堤)

R7事業費
160百万円

事業の概要

ひめかわ うらかわ
姫川水系の浦川上流域には日本三大崩れの一つと言われる稗田山の大崩壊地が存在し、河床内には不安定な土砂や流木が大量に堆積・残存しているため、昨今の気象変動による影響で頻発化している集中豪雨により水害・土砂災害が激甚化する危険性が高い流域です。

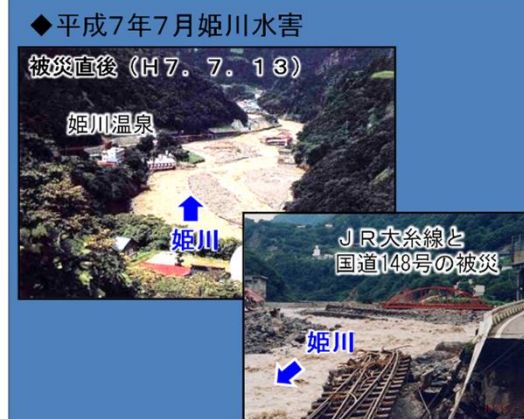
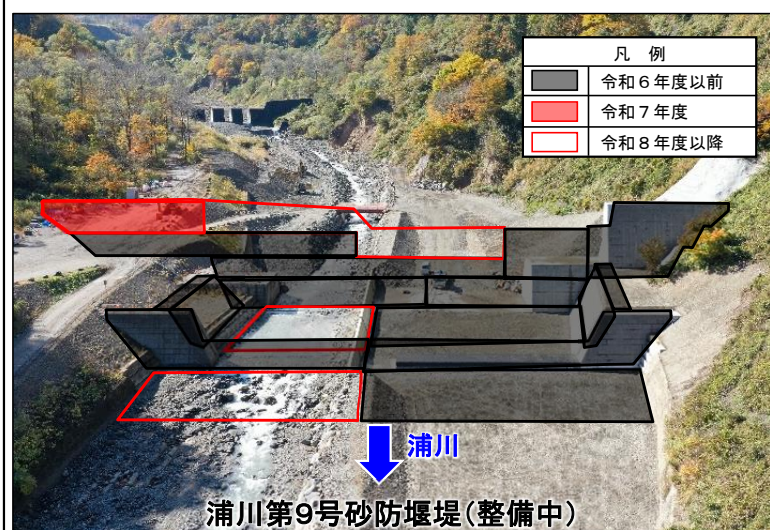
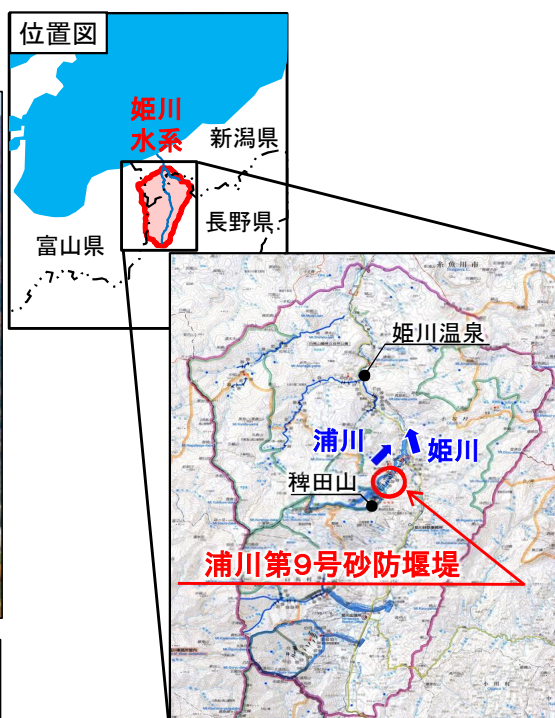
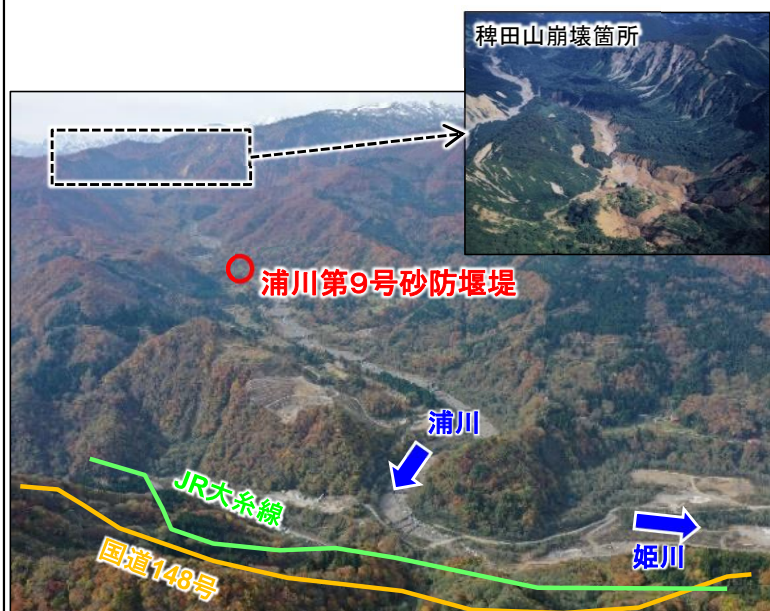
うらかわ
浦川第9号砂防堰堤では、「流域治水」の一環として土砂災害を防止するため、5か年加速化対策により砂防堰堤の整備を実施します。

整備効果

ひめかわ
砂防堰堤工の整備により、姫川水系の土砂・洪水氾濫に対する治水安全度を向上させ、保全対象である長野県小谷村をはじめとした沿川地域における安全と安心を確保します。

令和7年度の事業内容

きたおたり
北小谷地区において、砂防堰堤工の整備を推進します。



➤ 北陸地方整備局管内の流域治水プロジェクトについては、下記にてご覧いただけます。
<https://www.hrr.mlit.go.jp/river/ryuikitisui/top.html>

岐阜県内の主要事業

治水

1	直轄	神通川水系(砂防) 貝塩第2号砂防堰堤
---	----	------------------------



凡例	治水事業
----	------

じんづうがわ
神通川水系直轄砂防事業の推進
ぎふ たかやま かいしお
岐阜県高山市(貝塩第2号砂防堰堤)

R7事業費
437百万円

事業の概要

じんづうがわ たかはらがわ
神通川水系の高原川流域は、荒廃が著しく不安定な土砂や流木が河床内に大量に堆積しており、昨今の気象変動による影響で頻発化している集中豪雨により水害・土砂災害が激甚化する危険性が高い流域です。

かいしお
貝塩第2号砂防堰堤では、「流域治水」の一環として土砂及び流木災害を防止するため、砂防堰堤の整備を実施します。

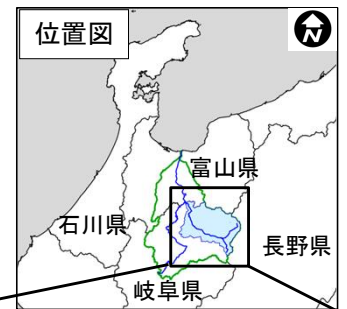
整備効果

砂防堰堤工の整備により、じんづうがわ
神通川水系の土砂・洪水氾濫に対する治水安全度を向上させ、保全対象である岐阜県高山市をはじめとした沿川地域における安全と安心を確保します。

令和7年度の事業内容

おくひだおんせんこうえがね
奥飛騨温泉郷一重ヶ根地区において、砂防堰堤工の整備を推進します。

事業箇所の全景



富山湾の流木堆積状況(平成11年9月出水時)



ほらだに とちお
洞谷からの土石流が栃尾温泉街を直撃(昭和54年洞谷災害)

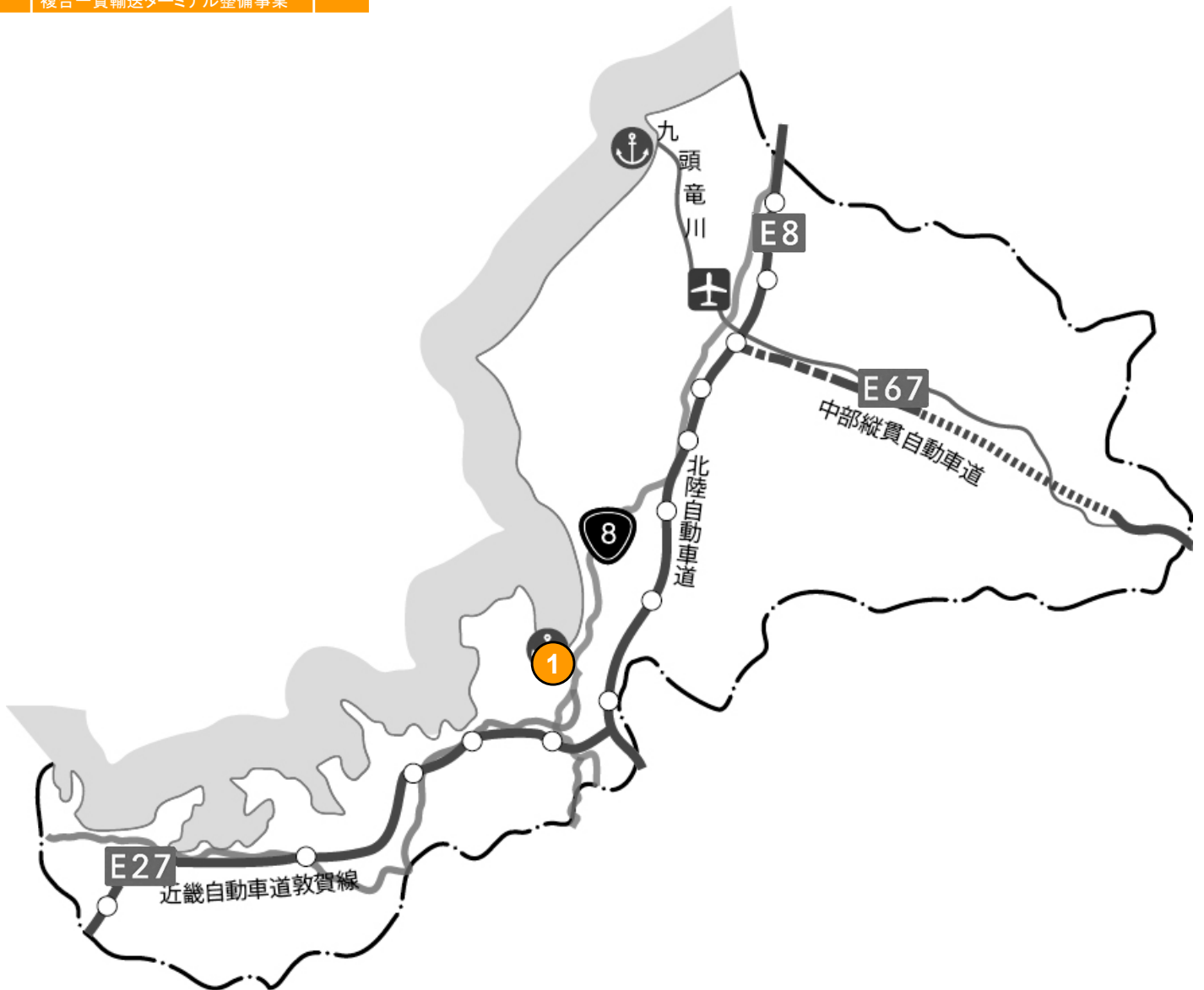
➤ 北陸地方整備局管内の流域治水プロジェクトについては、下記にてご覧いただけます。

<https://www.hrr.mlit.go.jp/river/ryuikitisui/top.html>

福井県内の主要事業

港湾

1	直轄	敦賀港鞠山南地区 複合一貫輸送ターミナル整備事業
---	----	-----------------------------



凡例	港湾事業
	直轄事業

つるが まりやまみなみ
敦賀港 鞠山南地区
複合一貫輸送ターミナル整備事業の推進
ふくい つるが
福井県敦賀市

R7事業費
600百万円

事業の概要

敦賀港は、日本海側で唯一、北海道と九州を結ぶRORO船航路が就航し、関西・中京圏の物流を支えるとともに、外貿定期コンテナ航路が就航し、地域の経済活動を支援しています。

将来の需要予測を見込んだRORO船の大型化に対応するため、鞠山南地区の複合一貫輸送ターミナルの整備を推進します。

整備効果

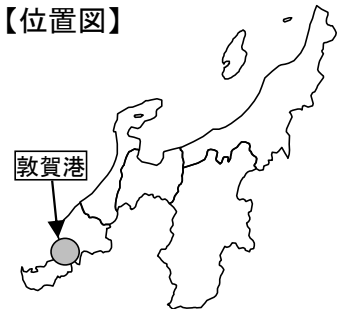
内航RORO船の大型化への対応やユニットロード貨物の鞠山南地区への集約は、「物流2024年問題」やトラックドライバー不足等の課題解決に向けたモーダルシフトを促進及び増大する海上物流のニーズへの対応など、地域産業の競争力強化を図り、地域経済の安定と発展につながります。

また、耐震強化岸壁として整備することにより、サプライチェーンの強靱化、災害対応力の強化を図ります。

令和7年度の事業内容

岸壁の整備を推進します。

【位置図】



その他主要事業

河川管理施設等の機能維持

北陸地方整備局管内

事業の概要

河道が有する機能を維持するため、繁茂した樹木の伐採や堆積した土砂の撤去等の河道の維持管理を、民間と連携した取組や各種コスト縮減を図りつつ行います。

また、3次元計測技術等を活用し堤防等の河川管理施設の状態把握を効率的に行い、施設の変状や老朽化により機能低下した施設の更新・修繕等を計画的に実施します。

整備効果

河道の維持や河川管理施設の修繕等を実施することで、必要な機能を回復・維持し、洪水時の安全性を確保します。

令和7年度の事業内容

○河道流下断面の維持



繁茂した河道内樹木の伐採



公募による樹木伐採



堆積土砂の撤去

○変状や老朽化により機能低下した施設の更新・修繕



損傷した護岸の修繕



排水機場原動機の更新

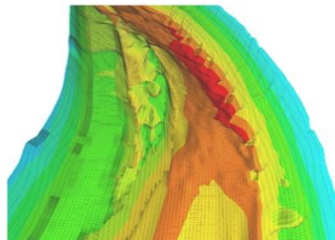


腐食したゲート設備の修繕

○河道、河川管理施設の点検・維持



施設の点検



3次元計測による
河道の状態把握

○施設点検・巡視のための堤防除草



大型遠隔除草機械
による効率的な除草



新技術による
急斜面の機械除草

河川の情報提供の高度化の推進

北陸地方整備局管内

事業の概要

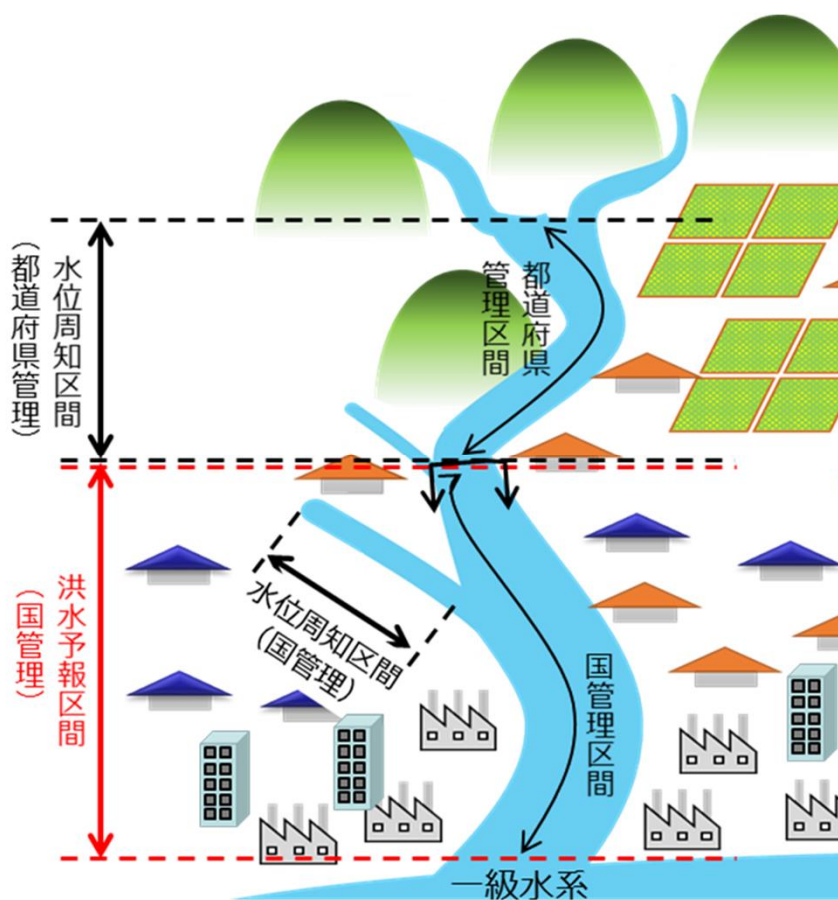
国土交通省では、災害の切迫感を分かりやすく伝える取組みの一つとして、上流から下流まで連続的に洪水の危険度が分かる河川の水位予測を令和元年より提供しております。近年は、令和元年東日本台風をはじめとした台風や活発な前線の影響を受け、河川の氾濫等により各地で甚大な被害が発生しており、より良い河川情報を提供して避難を支援するため、情報提供の高度化を推進します。

整備効果

河川の情報提供の高度化を推進することにより着実な防災対応や避難行動を支援します。

令和7年度当初予算の事業内容

当初予算の充当により、北陸地方整備局管内の一級水系河川において、雨量や水位などの観測所を最大限活用した情報提供の高度化に取り組みます。



雨量や水位などの観測所を最大限活用した情報提供の高度化

道路の老朽化対策、防災・震災対策等の推進

北陸地方整備局管内

事業の概要

・道路の老朽化対策

橋梁・トンネル等の道路構造物について、適切に点検・修繕等を実施するメンテナンスサイクル（点検・診断・措置・記録）の推進に取り組みます。

・道路の防災・震災対策等

大規模災害時の救急救命活動や復旧支援活動を支えるため、緊急輸送道路の強化を推進します。

令和7年度の事業内容

道路の老朽化対策

<橋梁>



（点検）



（支承の腐食）

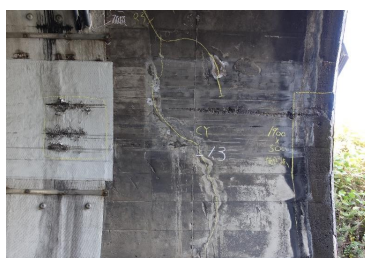


（対策イメージ：支承取替）

<トンネル>



（点検）



（覆工の損傷）



（対策イメージ：断面修復）

道路の防災・震災対策等

<耐震補強>



（対策イメージ：橋脚巻き立て）

<防雪対策>



（対策イメージ：消雪パイプ）

道路利用者団体と連携した渋滞対策の推進

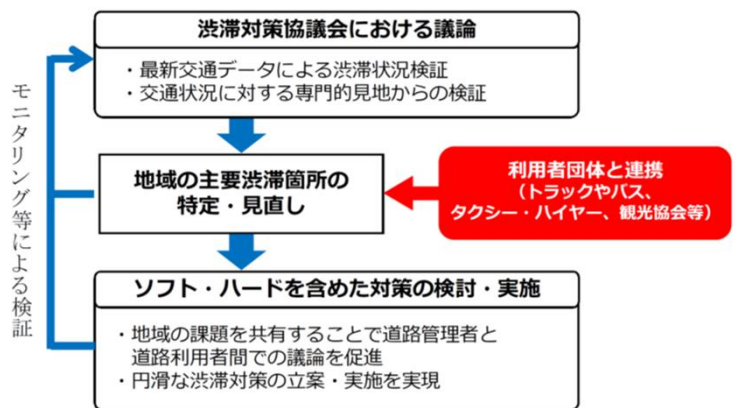
北陸地方整備局管内

事業の概要

各県単位で、道路管理者、警察等から構成される渋滞対策協議会において、効果的な対策を検討・実施しています。

この渋滞対策協議会とトラックやバス等の利用者団体が連携を強化し、利用者の視点で渋滞箇所を特定した上で、速効対策を実施します。

【渋滞対策の流れ】



令和7年度の事業内容

位置図



国道8号

須頃3(北)交差点 (新潟県 三条市)



＜＜右折レーンの新設を予定＞＞

国道8号

松山町～加茂町 (石川県 加賀市)



＜＜4車線拡幅を予定＞＞

能越自動車道

高岡北IC入口交差点 (富山県 高岡市)



＜＜右折レーンの増設を予定＞＞

令和7年度の道路調査の見通しについて（ネットワーク）

個別路線の事業化に向けて、ルート・構造検討に係る調査等を進めます。
。主な調査箇所は、下記の通りです。

【主な調査箇所】

概略ルート・構造の検討（計画段階評価を進めるための調査）

新潟県

新潟山形南部連絡道路（片貝^{かたかい}～金丸^{かなまる}）

富山県

高岡環状道路（北側区間）^{たかおか}

国道17号の湯沢地区^{ゆざわ}などの災害に対する脆弱区間については、防災機能の向上や幹線道路の機能強化等に係る調査を実施します。

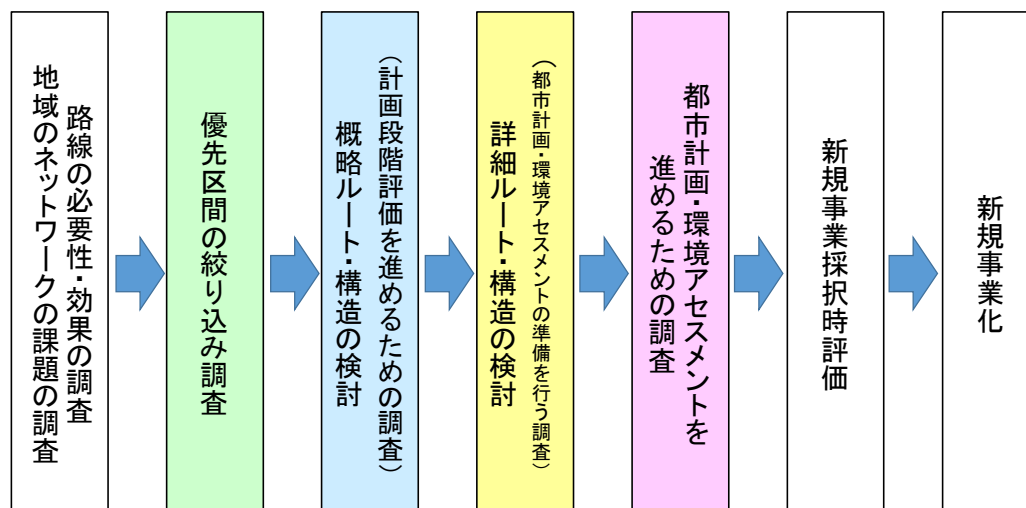
令和6年能登半島地震及び豪雨で甚大な被害が発生した能登地域について、震災等からの復旧・復興を加速化するため、能越自動車道をはじめとした広域道路ネットワークのあり方について、石川県・関係自治体と連携して検討を進めます。

小松白川連絡道路について、石川・岐阜間のネットワークのあり方について、石川県及び岐阜県と連携して検討を進めます。^{こまつしらかわ}

その他の未整備区間についても、当該地域の交通状況、社会経済状況や道路網の課題等を調査し、優先区間の検討や地域の道路網の中での必要性・整備効果の整理等を進めます。

また、渋滞や交通安全など、地域における道路交通に関する課題、サービスレベルを把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、路線の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

<道路調査の流れ>



令和7年度の道路調査の見通しについて（交通拠点）

地域の交通課題を把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、道路ネットワークにおける拠点の機能強化の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

＜交通拠点の調査の流れ＞

